

未来に託す、平和への願い！



7月18日(木)、未来を担う子供達が、平和を希求する豊かな心を持った人に育つよう、「平和集会」を実施しました。内容は、

- ① 「仲良くなる」を念頭において考えた、クラス毎のメッセージ作成とその発表。
- ② 「平和学習」の発表(6年生)
- ③ 絵本「真っ黒なお弁当」(集会委員会)
- ④ 歌「青い空は」
- ⑤ 折り鶴折り(縦割り班ごとに)
- ⑥ 校長の話

私も出番をいただきましたので、ある話を朗読させていただきました。紹介します。

九州の南の端に近い海辺に、小さな学校があり、いつの頃からか、毎日のように、日の丸をつけた飛行機が、学校の真上を飛ぶようになった。生徒たちはそのたび、バンザイと叫んで、手を振った。すると飛行機は、まるでそんな声が聞こえたかのように、ゆっくり翼を振って、海の向こうへ飛び去った。子どもたちは、飛行機が、なんども学校に飛んできてくれるのだとばかり思って喜んでた。しかし、先生たちは知っていた。それが、片道だけの燃料しか持たず、爆弾とともに、敵の軍艦に突入する特攻機であり、最期の「サヨナラ」をしていることを。子どもたちは、手紙や絵をかいて、航空隊に送り続けた。手紙や絵もかき飽きた頃、一人の女の子が、校庭に咲き乱れるすみれの花を送ることを提案し手紙とともに送った。すると、いく日かして学校に手紙が届いた。

すみれの花をたくさんありがとう。
夕べは、とても楽しい夜でした。(中略)
すみれの花ですもうをしました。(中略)
せっかくもらった花を、ちぎってしまっ
て、わるいなど思いながら毛布の中を花だらけ
にしたまま寝てしまいました。
かすかにいいにおいがしました。
いま、出撃の号令がかかりました。
みなさん、ありがとう。夕べは本当に楽しい夜
でした。いつまでもお元気で。サヨナラ。

いつ出されるかわからない出撃命令を待ち、すみれの花で花相撲に興じ静かに眠りに落ちた若い特攻隊員の手紙を、先生は声を詰まらせ読み、生徒の前で泣きました…。

戦争がおわって、いく年かが過ぎた頃、南の海の小さな無人島一面に、すみれの花が咲くようになった。子どもたちの送ったすみれの花束に、種も混じっていたのだろうか。

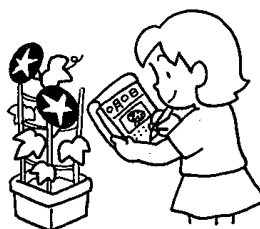
いま、海辺の人たちは、名前のなかったその島のことを、〈すみれ島〉とよんでいる。

今、全てはわからなくても、幼い心のどこかに西部小の体育館で聞いたこの話が少しでも残ってくれたら。そう思いながら…。

明日から夏休みがSTART！

やったあ、夏休みだ～。海で泳ぎたいなあ。カブトムシを採りたいなあ、スイカ割に花火やキャンプも…。子ども達の頭の中は、夢と希望で一杯になっていることでしょうね。同時に、長期の夏休みだからこそ出来ることも沢山。

これからは、自主的に計画を立てて実行に移す力がますます必要とされる時代です。この夏、目の



前には、沢山のチャンスが待っているはずで
す。そのチャンスを見つ
け、しっかり「勉強や遊
びの計画を立て」最高
の夏休みにしてほしいと
願っています。

～お礼～

お礼が遅くなりましたが、いじめ体罰のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。記述に際しては、どこまで書いて良いのか？聞いた話なので…など、様々な事に配慮し気を遣われたことと思います。私たちは戴いた想いを真摯に受けとめ、子ども達の幸せのために全力で取り組んでいこうと意を強くしたところです。

これからも、お困りのことや疑問に思われた際は遠慮無くご相談下さい。「顔を合わせて話すこと」に勝るものはありませんからね。令和最初の夏。例年に増して暑い夏になりそうです。大人の笑顔は子どもを元気にします。皆様、どうかお体ご自愛のほど。



